

第 5 号	令和8年7月17日 松山市立湯山中学校	
	【学校の教育目標】 笑顔・夢・挑戦 諦めない生徒の育成	

○校長室より「四つ葉のクローバーの力のお裾分け」

校長 池田 秀彦

真夏の陽気が感じられるようになってきました。中学校もいよいよ1学期のまとめの時期を迎えています。先日、校内の菜園で野菜の世話をしている生徒が、四つ葉のクローバーを手に、「そこで見つけました。」と笑顔で報告してくれました。いつの時代も、子どもたちにとって、四つ葉のクローバーは幸運の象徴であるようです。さて、普段はなかなか見つからない四つ葉のクローバーですが、他の所よりも見つけやすい場所があります。それは、人がたくさん通ったり、車が通ったりしてクローバーが踏まれやすい場所と言われています。踏まれたり、折られたりする場所なのに、意外な感じがします。というのも、クローバーの葉は、小さい葉がだんだん大きくなってできるのですが、小さい葉のうちに踏まれると、2つに分かれてしまうことがあるのだそうです。そうすると、クローバーはその部分を治そうとして、たくさんの栄養を出し、そのたくさんの栄養を使って、またそれぞれ大きな葉に育っていくというわけです。生き物の持つ力ってすごいですね。そのようにして生まれた四つ葉のクローバーだからこそ、運よく見つけられると、私たちはその力のお裾分けをいただき、幸せな気持ちになれるのかもしれない。

生徒たちも、毎日の生活の中で、友達とけんかをしたり、叱られたりして、自分の思い通りにならず元気をなくしてしまうことがあるかもしれません。そのようなときには、これを乗り越えることができた先に、クローバーの4つ目の葉のように新しい力が生まれると信じて、声をかけたり見守ったりできること、少し待ってあげられることが大切であると考えています。きっと子どもは、その時その時を自分の力で何とか切り抜けていく経験を積み重ね、四つ葉のクローバーのようにたくさんの栄養を自分の力とし、次の一步を踏み出して新しい幸せをつかんでくれるものと思います。

これまで、修学旅行、集団宿泊活動、市総体、総合的な学習の時間(職場体験学習、福祉学習)など、190名の生徒一人ひとりが、壁にぶつかりながらも行事を乗り越えるごとに成長していく様子を見て、とても頼もしく感じることができました。地域の方々や保護者の方々におかれましても、登校時の見守り活動や部活動生の送迎等で温かいご支援をいただき、ありがとうございました。これから夏休みに入りますが、生徒の安全の確保、健全育成に引き続きご協力いただきますようお願いいたします。



○第1学期終業式

7月17日の終業式では、校長から、新渡戸稲造氏の格言「情けは人の為ならず」を引用し、「善い行いは巡り巡っていつか自分に返ってくる。夏休みは自分を変えるチャンス。自分の心に問いかけて、理想の自分をイメージし、自分や周りにとって善いと思うことにチャレンジしてほしい。」と式辞が述べられました。また、各学年代表生徒による作文発表があり、1学期に頑張ったことなどが紹介されました。



【校長式辞】



【各学年の作文発表の代表生徒】



【夏休みの生活指導】

〇1学期の反省と今後の抱負(代表生徒発表)

「頑張りから学んだこと」

一年二組 Tさん

私は、中学生になって様々な体験を通して、自分の頑張りによって学んだことが三つあります。

一つ目は、大洲青少年交流の家での活動です。班長になり、班をまとめることを頑張りました。班をまとめることは難しかったけれど、最後まで自分の役割を果たすことができました。また、たくさんの場所で班員と協力することができました。特にウォークラリーでは、クイズの正答率と時間管理が勝利の鍵となり、班員とマップを見ながら協力してクイズを解きました。班員とペースを合わせながら、クイズをすべて解き終え、全員が無事にゴールすることができました。その結果、一位になることができました。結果が発表されたときは、とても嬉しかったです。この嬉しさは、班員の協力や頑張りがあったからこそだと思います。

二つ目は、松山市総体です。総体では、選手として試合に出場しました。初めての壮行会を経験し、たくさんの人が応援してくれていることに驚くとともに、とても緊張しました。試合当日まで必死に練習し、自主練習にも進んで取り組みました。不安な思いも抱えながら迎えた試合当日は、先輩や同級生の声かけが自分の力になりました。とても緊張したけれど、最後まで諦めずにやりきる、どんな時でも声をかけ合う、という目標を達成することができ、悔いのない試合ができました。

三つ目は、期末テストです。初めての期末テストで、どのような勉強をしたらよいのか、どのくらい勉強すればよいか分からないところからのスタートでした。しかし、先生方からのアドバイスを参考に、ワークの問題を何度も解き直すなどして、テストに臨みました。今回の期末テストの反省を生かして、九月の診断テストでは、今回あまりできなかった理科に力を入れて、目標とする点数が取れるように頑張ります。夏休みは、たくさん時間があるので教科書を隅々まで見返したり、ワークなどを解き直したりして、難しい問題でもスラスラ解けるように努力していきたいです。

このように、宿泊活動では、協力することの大切さや思いやりの大切さ。総体では、目標を立ててやり切る達成感や諦めないことの大切さ。期末テストでは、勉強への取り組み方を学びました。こうした学びがあるのは、さまざまな体験を全力で取り組み、頑張ったからだだと思います。

明日から始まる夏休みは、診断テストに向けての勉強や部活動に力を入れて、文武両道を目指したいです。二学期は、行事がたくさんあるので、一つ一つの行事を大切に、頑張るときは頑張る、楽しむときは思いっきり楽しむなど瞬時に切り替えができるようにしたいです。そして、何事にも全力で取り組み、たくさんの頑張りや自分の発見や学びに生かしていきたいです。

「一学期の振り返りと今後の目標」

二年二組 Sさん

二年生の一学期を振り返ると、思うようにいかず、悔しい思いをしたことや、それを乗り越えようと努力したことが思い出されます。その一つ一つの経験を通して「失敗を成功につなげることの大切さ」を学ぶことができました。

その一つが部活動です。私は女子バレーボール部に所属しています。思うようなプレーができず、自分の力不足を感じ、落ちこむことが何度もありました。しかし「もっと上手になりたい」という気持ちがあり、部活動での練習はもちろん、自主練習にも積極的に取り組みました。自分に足りないところを意識しながら練習を続けました。すぐに結果が出たわけではありませんでしたが、少しずつできることが増えていくと、自分の努力は無駄ではなかったのだと感ずることができました。この経験から、失敗は終わりではなく、自分を成長させる一つのきっかけになるということを知りました。もう一つは勉強です。自分なりに目標を立てて毎日の学習に取り組みました。授業で分からなかったことをそのままにせず、復習をしたり、テスト前には計画を立てて勉強したりしました。一年生のときより学習内容が難しくなって、しっかり授業についていけるか不安でした。そこで、テスト前には苦手な教科も積極的に取り組みました。その結果、期末テストでは九教科合計で自己最高点数を取ることができました。この結果は、一日だけ頑張ったからではなく、毎日の積み重ねがあったからこそだと思います。これらの経験から、目標を持って努力することの大切さを改めて実感しました。

一学期を通して、悔しさをバネにあきらめずに努力を続けることは、自分を成長させてくれるのだとわかりました。また、一人で頑張るのではなく、友達や先生、先輩などの周りの人に支えられている

からこそ、前向きに努力を続けることができたと思います。これからも目標に向けて努力し続け、感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。

二学期は体育大会や文化祭、二年生は職場体験などの行事があります。一学期に学んだ「失敗を成長につなげること」を忘れず、どんなことにも前向きに挑戦したいです。特に職場体験では、多くのことを学び、自分の将来について考えるきっかけにしたいと思います。そして、一つ一つの経験を大切にしながら、自分自身を成長させていきたいです。

「一学期を終えて」

三年一組 Iさん

私たちは中学校三年生になり、1学期が終わるこの時期に、たくさんの「最後」を感じています。部活動の大会や学校行事、そして友達との思い出が、すべて最後なのだとことを実感しています。この一年が終わると、中学校生活も終わってしまうと思うと、少し寂しさを感じます。だからこそ、何においても集大成のつもりで、悔いのないように取り組んでいきたいと思うのです。

一学期は、あっという間でした。四月の終わりに行った修学旅行は、今ではもう遠い昔のように感じますが、間違いなく中学校での忘れられない思い出となりました。教科書で見たままの聖徳太子像や玉虫厨子を目の前に見ることができた法隆寺、大きな大仏像をみんなで見上げた東大寺、京都でのタクシー研修で巡った寺社仏閣等の名所は、日本の伝統の素晴らしさに触れ、とても感動しました。

また、USJのオフィシャルホテルを楽しみ、USJを満喫して、大満足な旅行でした。

私は特に高校受験を意識し始め、勉強に真剣に取り組むようになりました。今まで以上に勉強が大変です。自分の未来のために頑張ることが大切だと感じています。夏休みには次の実力テストに向けて計画的に勉強を進め、苦手を克服できるよう努力したいと思っています。目標を持って取り組むことで、自分の成長を実感できるはずです。六月に私立高校の説明会、そして高校のオープンスクールに行き、実際に高校の雰囲気を感じることができました。高校の先輩たちは自分の好きなこと、学んでいることを楽しそうに話してくれました。また一人ひとりが全力で学び、資格を取り、夢に向かって頑張っている姿を見て、とてもかっこいいと感じ、こんなふうに努力できる高校生になりたいと思いました。二学期には、学習と、最後の体育大会や合唱コンクール、文化祭等の学校行事、どちらも全力で取り組みたいと思います。湯山中学校も八十周年を迎え、私たちはその記念の年に八十期生として足跡を残し、先輩が紡いできてくださった湯山中の伝統を次に引き継いでいきたいです。思い出に残る楽しい行事や仲間との絆を大切にしながら、受験勉強もおろそかにせず、充実した日々を送りたいです。中学校生活に悔いがないよう最後まで全力で駆け抜ける心意気を忘れずにいたいと思います。

この1学期、たくさんの経験を通じて成長できたことに感謝し、これからもいろいろなことに挑戦していくために、有意義な夏休みにしたいです。三年生の皆さん、夏が勝負です。暑さに負けずに、元気に、また、二学期に会いましょう。

○県大会等壮行会

終業式に先立って、県大会等に出場する選手たちを激励するための壮行会を行いました。壮行会では、県総体出場の権利を獲得した生徒の紹介や、全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会に出場する吹奏楽部による演奏披露がありました。会では、それぞれの選手達の強い意気込みが伝わってきました。



【県総体出場選手の意気込み】



【吹奏楽部の演奏披露】



【生徒会からの激励の言葉】

○後期生徒会役員選挙と生徒会役員任命式・引継式

7月7日に後期生徒会役員選挙が行われました。選挙期間中の登校時には、立候補者とそれを応援するクラスメイトたちが、登校してくる生徒に笑顔で投票の呼び掛けと挨拶をしている姿が見られました。そして、選挙当日には、立候補者はそれぞれが考えている公約を堂々と発表し、全校生徒に力強く投票を呼び掛けました。どの候補者からも、これからの湯山中を引っ張っていきたいという意気込みが感じられました。また、7月16日に生徒会役員の任命式と引継式がテレビ放送で行われました。新役員からは、後期に向けての意気込みや旧役員からバトンを引き継ぐ決意が力強く発表されました。



【朝の選挙運動】



【本物の投票箱を使った選挙】



【新役員からの挨拶】

○きらめき水泳大会

7月8日にアクアパレットまつやまで「きらめき水泳大会」が行われました。いぶき・せせらぎ学級の生徒は、一人ひとりが目標を持って大会に臨みました。最初は他校のたくさんの選手に囲まれて緊張した表情を浮かべている生徒もいましたが、いざ出発の合図が鳴ると、これまで練習してきたとおりに自然と体が動き、全員最後まで泳ぎ切ることができました。応援ありがとうございました。



【スタートする選手】



【お互いの頑張りを応援】



【選手全員笑顔で完泳】

○総合的な学習の時間(2年「職場体験学習」と3年「福祉体験学習」)

6～7月にかけて、2年生は職場体験学習に向けてマナー講座や事前訪問を行ってきました。これまで準備をしてきた成果を、地域を中心とした様々な事業所で実習として生かすことができると考えています。また、3年生は7月3日に福祉体験学習を行いました。地域包括センターのみなさんを講師にお迎えし、高齢者疑似体験と認知症サポーター養成の2つの講座を開設して、高齢者の心や体についての理解を深めました。自分にできることを考え、実践に結び付けることを目標にしています。



【マナー講座(2年)】



【職場体験事前訪問(2年)】



【認知症サポーター養成講座(3年)】